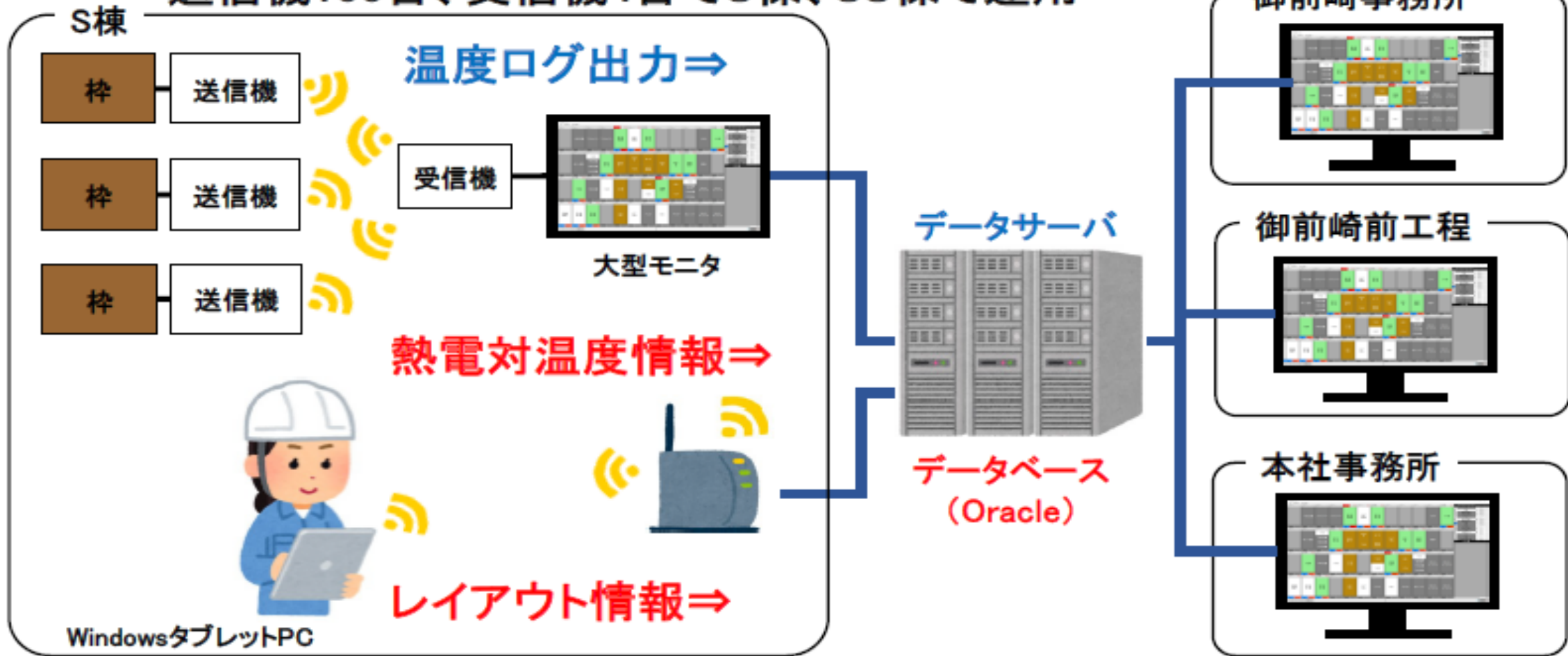


冷却場管理システムの詳細

(株)木村鋳造所
事例

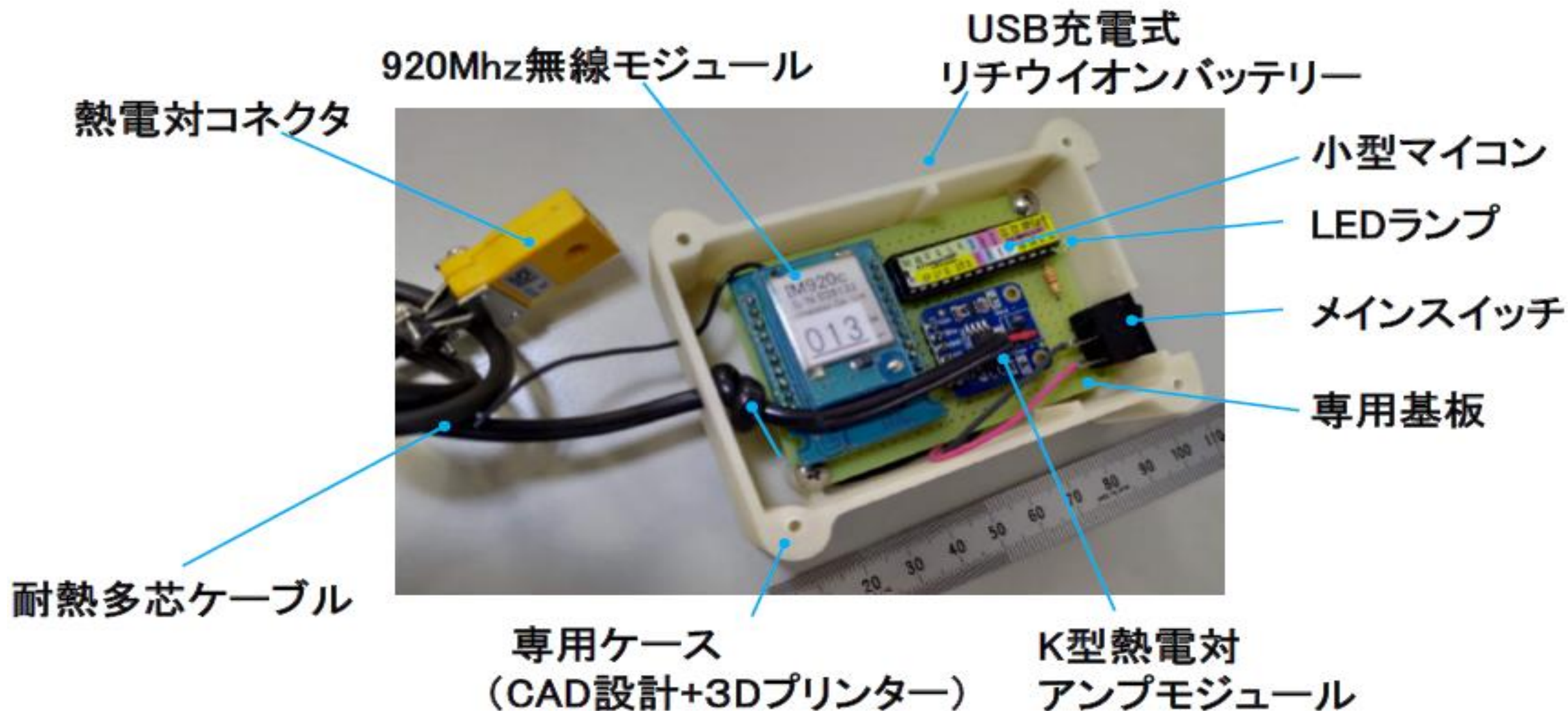
送信機100台、受信機4台でS棟、SS棟で運用



社内ネットワークに接続されていればどこでも冷却場の状態や枠内温度を知る事ができるようになった。

作成した鑄枠管理用のIoTデバイス

マイコンも電気もよくわからない私でもなんとか作成できた。



冷却場管理システムについて

冷却場のロケーション管理と、枠内温度の常時監視を行うIoTシステムを作成し、コストダウンを行った。



冷却場管理ソフトウェア(C#)

920Mhz帯通信の熱電対温度センサ

運用状況



55インチモニタ



受信機

ファンレス小型PC(Shuttle DS7700U)

S棟、SS棟で大型モニタ2台、送信機100台、受信機4台で運用中



- ① 一日5時歩きまわる測温作業が不要となった。
- ② どこにどの枠があるのか、情報の共有化ができるようになった。
- ③ 単品鑄物の生産において枠管理ができるようになった。

※900mAのリチウムイオンバッテリーで半年以上の連続稼働が可能